



京都市都市計画 マスタープラン

KYOTO
CITY PLANNING MASTER PLAN



令和3年9月
京都市

はじめに

**逆境の中で「創造」を見出し、
魅力と活力あふれる持続可能なまちへ！**



「創造とは、逆境の中でこそ見出されるもの」。

ある著名な建築家は、そんな言葉を残しています。

この言葉のとおり京都の先人たちは、襲いかかる幾重もの危機に知恵と力を結集させ、逆境を乗り越えてきました。今再び、歴史に学び、課題に真正面から立ち向かい、必ずや市民の皆様とともに京都の明るい未来を創造する。そんな強い決意の下、本市の都市づくりの基本方針である「都市計画マスタープラン」を、10年ぶりに見直しました。

この間、私たちは豊かな自然や歴史的な町並み景観など、先人たちから受け継いできた大切な“財産”を市民ぐるみで守り育て、磨きをかけ、新たな価値を創造してきました。その結果、京都の魅力や都市格は飛躍的に向上し、国内外から高い評価をいただいているところです。

一方、人口減少社会が本格的に到来する中、未来を担う若者・子育て層の市外流出、自然災害の頻発など、このまちの将来を脅かす事態が発生。さらに、未曾有のコロナ危機に加え、収支不均衡の構造が長く続いてきたことによる本市の財政危機にも直面しています。

これからも京都が魅力と活力あふれるまちであり続けるためには、まずは都市の発展と活力の維持に大きな影響を与える人口減少に歯止めをかける。そのうえで、京都が誇る歴史や文化を大切に守りながら、暮らしの豊かさや経済の活性化にもつなげていかなければなりません。

今回の見直しでは、京都の都市特性を踏まえたこれまでのまちづくりを基に、京都ならではの魅力と都市の活力の好循環を生み出す。その道筋を描いています。

ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据えた、新たな時代に対応した「職住共存・職住近接」のまち、近隣都市と一体となった「京都都市圏」の強化…。これらの新たな視点をもって、あらゆる危機に粘り強くしなやかに対応してまいります。

そして、本プランの下、市民の皆様をはじめ多くの方々の参加と協働による“挑戦と改革”で、この逆境を乗り越え、共に持続可能で明るい京都の未来を創造していく。「京都に住んでいてよかった」、「京都で暮らしたい、学びたい、働きたい、子育てしたい、訪れたい」と心から実感いただける。そんな笑顔あふれる京都のまちを実現してまいります決意です。

結びに、本プランの見直しに多大なお力添えを賜った「京都市都市計画審議会」及び「都市計画マスタープラン部会」の委員の皆様、パブリックコメントなどを通じ貴重な御意見や御提案をお寄せいただいた全ての皆様に、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

京都市長 門川 大作

第1章	都市計画マスタープランの前提	1
	1 都市計画マスタープランの役割と位置付け	3
	2 本書の構成	11
第2章	都市の動向	15
	1 京都市の特性	17
	2 京都市の現状と動向	20
第3章	全体構想～都市の将来像～	53
	1 都市計画に関する基本的な考え方	55
	2 目標とする都市の姿	61
	3 戦略的な都市づくりの進め方	73
第4章	全体構想～都市計画の方針～	75
	1 土地利用	77
	2 歩くまち	89
	3 景観	94
	4 防災	99
	5 道路	105
	6 公園・緑地	107
	7 市街地整備	111
	8 水・河川	115
	9 その他市民の暮らしを支える施設	118

目次

CONTENTS



1 策定の背景	121
2 方面別指針の役割	121
3 方面の区分	121
◆ 北部	123
◆ 都心部	127
◆ 東部	131
◆ 南部	135
◆ 西部	139

1 地域まちづくり構想	145
2 学術文化・交流・創造ゾーン	149

1 用語集	153
2 プランの見直しの経過	161

地域まちづくり構想編（別冊）

